

拙い…

低級淫魔とはいえ  
数が多すぎる！

早く  
抜け出さないと…

えっ  
ま、まって！

そこは—





やめてっ

ここいつら  
胎内の魔力を  
嗅ぎつけて...

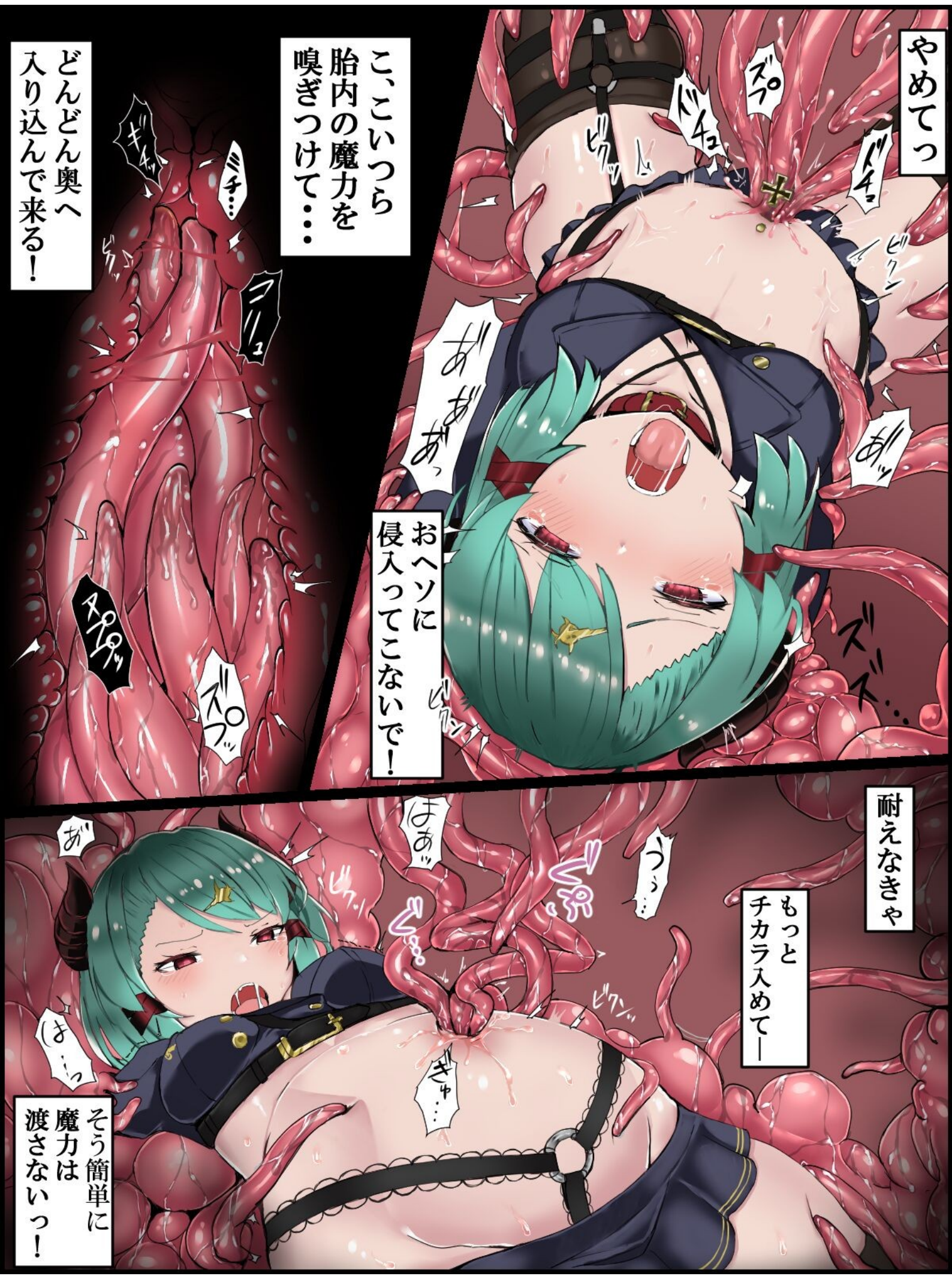
どんどん奥へ  
入り込んで来る!

おへソに  
侵入ってこないで!

耐えなきや

もっと  
チカラ入れてー

そう簡単に  
魔力は  
渡さないっ!





お腹が...  
おへソの周りが熱い...

まるで何かを  
刻みつけられてるみたい...





数時間後—

もう…おへソ、  
ちからでない…  
やめて…

助けて…  
指揮官様…

その後無事に救助されたが  
魔力は殆ど失ってしまった







